

# 稲沢市観光協会ニュース

INAZAWA TOURISM ASSOCIATION NEWS



第3回 いなざわ梅まつり



発行所／稲沢市観光協会 発行人／鈴木 清 稲沢市朝府町15番12号(稲沢市産業会館内)  
[TEL] 0587-22-1414 [FAX] 0587-22-1424 [HP] <http://www.inazawa-kankou.jp/> [E-mail] [inakan@inazawa-kankou.jp](mailto:inakan@inazawa-kankou.jp)

NO.11  
2010.1

# 新年のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

平成22年の輝かしい新春を迎えられましたこと心からお喜び申し上げます。

稲沢市観光協会を設立しまして早や5年目を迎えることができましたことは、会員を始め、関係者の皆様方のおかげと本当に感謝しております。

昨年3月開催しました「第3回梅まつり」では、新聞社の取材や名鉄ハイキングへの組み入れ、矢合観音から愛知県植木センターへの無料シャトルバスの運行、そして、愛知県植木センター、観光ボランティアの協力などにより想像を超えるたくさんの観光客にご来場いただくことができました。

また、9月に清洲城を含めた「はぎ寺と信長ゆかりの地めぐり」、11月には「祖父江善光寺とイチョウめぐり」のモニターバスツアーを開催しましたところ、昨今の武将人気もあり、また癒しの空間を散策といったところもあり、

定員をすぐにオーバーするなど大きな反響を呼びました。

このほか、総会において議決いただきました各種事業に付きまして、順調に実施してまいり、また、稲沢市のマスコットキャラクター「いなっピー」グッズの販売をはじめ、稲沢市の観光PR、特産品の販売を行ってまいりました。

本年も第4回いなざわ梅まつりの開催、ホームページ、広報紙の充実、観光資源の発掘、関係機関との連携強化につとめてまいります。

また、キャッチコピー「いなっピーが夢先案内人」が生まれました。当観光協会といたしましても、稲沢市の観光、歴史的文化財などを市内外にPRするためこのキャッチコピーを旗印に事業展開してまいります。

今後、協会の組織強化のため、引き続き会員の加入増強につとめてまいりますので、会員をはじめ市民各位のご指導、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



稲沢市観光協会 会長  
鈴村 清

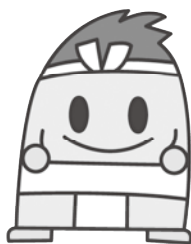


稲沢市のキャッチコピー



稲沢市観光協会 名誉会長  
稲沢市長

大野 紀明



マスコットキャラクター  
「いなっピー」

新年、あけましておめでとうございます。会員の皆様方とともに輝かしい2010年を迎えることができ、心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年は、米国発の世界的な金融不況から我が国の経済に大変な打撃となり、景気低迷と雇用情勢の悪化によって、日本経済にとって厳しい1年でありました。現在も昨年からの円高やデフレ傾向等により、経済成長の基盤が脆弱であるために、依然として厳しい経済状況は続くものと予測されており、本年が好景気の1年となることを願うものであります。

こうした厳しい状況下であります。本協会も皆様のご支援により、本年8月で設立5年目を迎えることとなりました。その間、稲沢市特有の資源を生かした、梅まつりの開催、モニターバスツアーや各種イベントの参画をはじめ、稲沢市マスコットキャラクター「いなっピー」のグッズ作成を行うなど、本市の観光推進母体として活躍いただいているところであります。市といたしましても本協会と連携し、新たなチャレンジとして昨年の10月23日から25日までの3日間において、彦根市が主催する「ゆるキャラまつりin彦根」に、「愛知・稲沢」として参加させていただきました。このまつりは、

全国から約130体の着ぐるみが一堂に集まり、それぞれのお国自慢をアピールするもので、彦根城のキャスルロードにおいて、グッズ・特産品販売を行いました。本市のマスコットキャラクター「いなっピー」も観光客の皆様にご大好評でありました。本市を市外の方々にアピールする絶好の機会と捉え、今後においても本協会と連携して参加していきたいと思っております。

また、昨年の8月には、観光キャッチコピーを募集し、157点の中から「いなっピーが夢先案内人」が選定され、このキャッチコピーを掲載した観光ポスターを新たに作成し、市内外へ観光PRを行っているところであります。さらに、市外から訪れる来訪者のおもてなしとして、市内主要道路等の市境に「いなっピー」を掲示した送迎看板を設置いたします。

今後におきましても、観光基本計画に掲げた各種アクションプランの実現に向け、本協会と連携し、取り組んでまいります。

終わりに、会員皆様のさらなるご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。この1年が皆様にとって輝かしいものでありますよう祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

監事

嶋 辰男  
大野 文敬

参事

渡邊 良幹  
塩崎 公也

友松 隆利  
服部 正見

山田 洋  
上条 貴

酒井 章治  
西村 有揮

土田 正義  
金森 信之

山田 武  
浅野 博

川瀬 道船  
近藤 修

国立 英夫  
福島 俊治

加藤 睦郎  
梶浦 祐樹

森 一洋  
中島 和伸

鈴木 睦  
林 知也

竹内 正憲  
宮本 知也

田中 省三  
齊藤 茂

鈴木 宏昌  
伊藤 弘道

日比野昭光  
山田 信行

大木 和也  
山田 信行

副会長

鈴村 清

会長

大野 紀明

名誉会長

吉川 昭

相談役

久保田浩文

顧問

仙石 稔

吉川 伸二

稲沢市観光協会役員名簿  
(月1日現在)

謹賀新年



各種イベントに参加し観光PRと特産品の販売を行う。  
いずれの会場においても大変好評でした。

### 第2回モニターバスツアー

- 期 日／平成21年11月27日[金]
- コース／国分寺・矢合観音→イチョウ黄葉まつり→  
祖父江善光寺→下水道科学館→禅源禅寺

#### ～祖父江善光寺とイチョウ黄葉めぐり～

稲沢市には史跡文化財が数多くあることから、市内外のみなさんに知っていただこうと、観光協会では、今年度2回目のモニターバスツアー「祖父江善光寺とイチョウ黄葉めぐり」と題して80人(バス2台)を募集したところ、中日新聞に掲載されたこともあって定員の半数が市外からの応募者があり、受付当日で定員いっぱいになるほどの盛況ぶりでした。コースとなった国分寺、禅源禅寺では文化財を、善光寺においては建立など歴史にふれていただきました。ふるさとガイドの会の皆さんの説明も分かりやすくよかったとアンケートにもありました。イチョウ黄葉まつり会場では「わーすごくきれい」と感嘆の声もあがり黄金色のイチョウを楽しんでいただきました。また、ぎんなんの入った昼食も好評で、次もツアーに参加したいと言う方がたくさんみえました。



### 稲沢サンドフェスタ2009

- メイン期間／平成21年10月4日[日]～11日[日]
- 場 所／国営木曾三川公園(ワールドネイチャープラザ)

今年は、メインのイベントを2日間とし、砂像の作成期間(9月19日～10月3日)も見てもらえるように会期中に入りました。来場者は会期が延長されたこと、名鉄ハイキングのコースとなったこともあり昨年の3倍強の約39,000人で、砂の造形展では、童話をモチーフにしたもの、最近のニュースを形にしたもの新しい発想の作品も制作されておりました。また、その他のイベントには、砂丘での大会(ビーチフラッグス、サンドドッジボール、ビーチバレーボール、ビーチサッカー)、宝さがし大会、○×クイズ大会、フリーマーケット等たくさんの催し物が開催され、参加者は夢中になっていました。

観光協会では、10月4日と11日の2日間に観光コーナーを設置し、「いなっピー」グッズの販売、稲沢市観光ガイドマップや観光チラシによる観光PRに努めました。



### 平成21年稲沢まつり

- 期 日／平成21年10月17日[土]～18日[日]
- 場 所／国府宮神社参道、稲沢中学校、稲沢市民会館ほか

今年は、初日の午後に雨が降ったものの両日で102,000人の人出がありました。

各会場で行われたイベントなど活気に充ち溢れ、国府宮神社参道の両側には、地元等の出店や側道には露店が立ち並ぶなか、行き交う人で賑わいました。稲沢中学校グラウンドでは、ミニSLやふわふわランドにチビっ子の人気が集まっています。市民会館では、稲沢音楽祭、ミュージックフェスティバル、講演会、手遊び講座等多彩な催し物が行われました。

観光協会では、稲沢市のマスコットキャラクター「いなっピー」グッズ7品目の販売と稲沢市の観光PRを観光ボランティアの協力を得て行いました。



### ゆるキャラまつりin彦根

- 期 日／平成21年10月23日[金]～25日[日]
- 場 所／彦根市文化プラザ、夢京橋キャスルロード近辺

#### ～キぐるミさみっと2009～

全国から彦根市に着ぐるみキャラクターが約130体集合するこの機会に、「いなっピー」を通して稲沢市をPRするため参加しました。1日目はオープニングステージでそれぞれのキャラクターの紹介がされました。2日目及び3日目は夢京橋キャスルロードで「ゆるキャラふれあい物産展」が開催されました。観光協会としては、いなっピー饅頭、ぎんなんパイパイ等の特産品や「いなっピー」のキャラクターグッズを販売するとともに観光パンフレットやいなっピーシールを配布、稲沢市のPRを行いました。また、着ぐるみの「いなっピー」も、多くの来場者との写真撮影も行い人気を博してありました。3日間の来場者数は、72,000人でした。





## 第9回木曽川郷土自慢観光物産展

- 期 日／平成21年11月6日〔金〕～8日〔日〕
- 場 所／名鉄百貨店一宮店 6階イベント広場外

### 沿川地域をもっと好きになり 生き活きとしたふれあいの輪を広げよう!

この事業は、木曽川沿川の愛知・岐阜両県9市町、国土交通省、愛知県、岐阜県及び官民有志による「木曽川連携クラブ」で構成され、木曽川沿川地域の活性化を図るため、木曽川連携クラブ会員と木曽川源流部の皆さんの協力を得て開催されました。

会場となった名鉄百貨店6階催物場には、源流部の名産コーナー・郷土芸能実演や9市町の観光PRコーナーと特産品コーナー等が設置され、近隣市町から16,500人が訪れました。観光協会からは、銀杏うどん、きしめん、銀杏等を祖父江町の大橋米店に稲沢市の特産品を販売していただき大変好評をいただきました。

## 第39回稲沢市消費生活展

- 期 日／平成21年10月31日〔土〕～11月1日〔日〕
- 場 所／稲沢市勤労福祉会館

### フレッシュ稲沢! ～見て聞いて学ぼう～

をテーマに、市民の暮らしに役立つ情報や知識を提供するとともに、消費生活の改善・省資源・省エネルギーなどを自主的に実践する「自ら考え、自主的に行動する消費者」を育てる契機を与える場として開催されました。毎年各消費者団体の協力をいただき、消費問題に関するパネル展示や体験コーナー、古布で作る講習会、クイズラリー、絵本の読み聞かせなどに今年も2,800人の市民が訪れました。また、屋外では特産品（銀杏、銀杏きしめん・うどん）販売コーナーや飲食（銀杏きしめん、串カツ、みたらし、どて煮等）コーナーのほか野菜、穀物、花の販売コーナーなども大盛況でした。

## 第12回そぶえイチョウ黄葉まつり

- 期 日／平成21年11月21日〔土〕～29日〔日〕
- 場 所／祖父江町体育館会場、山崎会場（祐専寺及び周辺）

### ～日本一の黄金色 眺めてよし、翡翠色の銀杏 食べてよし!～

第12回祖父江イチョウ黄葉まつりが、11月21日（土）～29日（日）の9日間に亘り開催されました。今年は、まつり期間内が最高の見頃となり、20日にライトアップ点灯セレモニー行い、初日の21日（土）には、稲沢市長、国会議員等々の多くの来賓をお迎えし、オープニングセレモニーやイベント・アトラクションなど盛りだくさんの催し物と抽選会が行われました。東海三県や関西方面の市外からも大勢の方々を訪れ黄葉を満喫しました。最終日の29日には、名鉄主催のハイキング「そぶえイチョウ黄葉まつりコース」に、4,500人が参加し、芋を洗うがごとく人ひとの波で歩くことさえ困難となる状況でした。祐専寺前には地元飲食組合等や出店にも見物客がごった返し、農家の人たちも銀杏の販売に追われていました。山崎小学校では、29日に「気球に乗って大パノラマツアー」も開催され、大好評でした。

観光協会では、11月29日（日）に市内外からイチョウ黄葉を見に来ていただいた観光客の方々に稲沢市の観光ガイドマップや地元にある善光寺東海別院、七福神めぐり、荻須記念美術館などのチラシによる観光案内や「いなっピー」グッズの販売をととして稲沢市のPRも行いました。

また今年は、テレビ局、ラジオ局等の報道関係から銀杏料理やイチョウ黄葉について、各種番組等に多く取りあげていただいた影響もあり、県外から交通手段についての問い合わせなども頻繁にありました。



美濃路あれこれ

## お茶壺道中

江戸時代に幕府御用のお茶が宇治から江戸まで送られました。この行列を「お茶壺道中」とか「宇治茶壺道中」といいました。

お茶壺道中の制度が確立したのは寛永十年（1633年）で、宇治から茶葉の生育状況の報告を受けて、毎年初夏に幕府の茶壺の行列が江戸を出発しました。往路は東海道を通り、復路は中山道・甲州街道を經由していました。

江戸中期以降は、茶壺復路も東海道を経由するすることが多くなりましたが、お茶は湿気を嫌うことから「七里の渡し」を避けて美濃路を通行しました。沿道や通行の人々は一歩の横暴にも將軍家の権威に従わなければならないなど苦勞の種でした。稲沢市にはこの茶壺道中に関する昔ばなしがあります。



## 01 天下の奇祭『国府宮はだか祭』

information ●平成22年2月26日[金] ●場所/尾張大國霊神社(国府宮神社) TEL0587-23-2121  
●交通/名鉄名古屋本線『国府宮』駅下車 徒歩5分・JR東海道本線『稲沢』駅下車 徒歩15分

「はだか祭」は、正しくは「難追神事(なおいしんじ)」と言います。今から1240年前、奈良時代の神護景雲元年(767年)称徳天皇の勅命により全国各地で悪疫退散の御祈禱がありました。このとき、尾張国司が尾張総社で厄払いをしたのが、難追神事となって現在まで伝えられています。

旧暦正月13日、はだか祭が行われる国府宮神社一帯は祭りの興奮に包まれます。

42歳と25歳の厄年の男を中心に、尾張一円からサラシのフンドシ、白足袋をつけた数千人のはだか男が、はだかにならない老若男女が願いをこめた布(なおいぎれ)を結びつけた青竹を、はだか男が身代わりとして担ぎ込み厄除けを祈願するものです。

また、国府宮神社参道では、神男(しんおとこ)に触れて厄を落とそうと数千人のはだか男がもみあいます。



旧暦正月2日午前9時に行われる標柱建式。「難追神事」と大書された標柱が神社正面に建てられ、祭りの開幕を告げます。

なおいしんじ(はだかまつり)  
難追神事(はだか祭)  
しめぼしらたてしき  
標柱建式

続いて午前10時、志願者を難追殿に集めてその年の神男を選定。神男は3日3晩、難追殿にこもり祭りの本番にそなえます。

なおいにん(しんおとこ)せんていしき  
難負人(神男)選定式

旧暦正月13日、はだか祭が行われる国府宮一帯は祭りの興奮に包まれます。国府宮神社参道では神男(しんおとこ)に触れて厄を落とそうと数千人のはだか男がもみあいます。

なおいしんじ(はだかまつり)  
難追神事(はだか祭)

旧暦正月14日午前8時からは大鏡餅を切って希望者に頒布。この餅を食べると無病息災の言い伝えがあり、多くの参拝者が集まります。

おおかがみもちもちきり  
大鏡餅餅切



### ◆はだか祭関係行事日程表(平成22年)

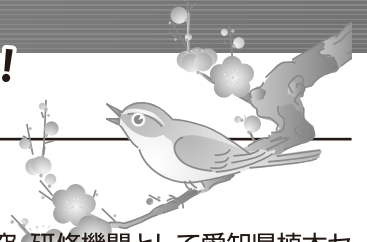
月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
2月15日[月]	午前9時	なおいしんじしめぼしらたてしき 難追神事標柱建式	正月2日
2月15日[月]	午前10時	なおいにん(しんおとこ)せんていしき 難負人(神男)選定式	正月2日
2月19日[金]	午前10時	おおかがみもちこめあ 大鏡餅米洗い	正月6日
2月20日[土]	午前5時	おおかがみもちもちつき 大鏡餅餅搗	正月7日
2月20日[土]	午前9時	くわがたざい 鋤形祭	正月7日
2月23日[火]	午後5時	なおいにん(しんおとこ)さんろう 難負人(神男)参籠	正月10日
2月24日[水]	午前9時	おおかがみもちかざりつけ 大鏡餅飾付	正月11日
2月24日[水]	午前10時	つちもちつきしんじならびにひふしたため 土餅搗神事並秘符認	正月11日
2月25日[木]	午後1時	おおかがみもちほうのう 大鏡餅奉納	正月12日
2月25日[木]	午後7時	ちようやしんじ 庁舎神事	正月12日
2月26日[金]	午後3時	なおいしんじ 難追神事(はだか祭)	正月13日
2月27日[土]	午前3時	よなおいしんじ 夜難追神事	正月14日
2月27日[土]	午前8時	おおかがみもちもちきりはじめきよはらしき 大鏡餅餅切始清祓式	正月14日
3月2日[火]	午後7時	まといしんじ 的射神事	正月17日
3月7日[日]	午前10時	ちゃかい なおい茶会	

稲沢市観光協会会員を募集しています

会費：法人会員 一口5,000円以上 / 個人会員 一口1,000円以上

# EVENT-information

## “みんなでいこまいかあ～”稲沢へ!!



### 02 第4回いなざわ梅まつり

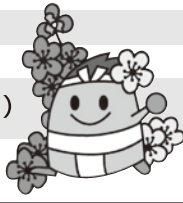
●平成22年3月6日[土]・7日[日] ●AM9:30～PM4:00  
 information ●場所／愛知県植木センター

稲沢市は全国的に植木、苗木の日本4大生産地の一つとして知られており、植木、苗木の研究・研修機関として愛知県植木センターが開設されています。園内には多種多様な樹木が集められており、四季折々に花が咲いております。とりわけ、梅品種は104種類、200本余の梅が栽培されており、全国的にも大変貴重な見本園であり開花時期には多数の見学者で賑わいます。

早春に美しい花を咲かせる梅の花を皆様に堪能していただくため、愛知県植木センターの協力を得まして第4回いなざわ梅まつりを開催します。

〈イベント〉

内容	日時
写真コンテスト	3月1日(月)～3月7日(日) 執務時間中
俳句大会	3月1日(月)～3月7日(日) 執務時間中
稲沢市特産品の販売	3月6日(土)～3月7日(日)
飲食コーナー	3月6日(土)～3月7日(日)
お抹茶コーナー	3月6日(土)～3月7日(日)
植木・苗木の販売	3月6日(土)～3月7日(日)
郵便局切手販売	3月6日(土)～3月7日(日)
樹木医により緑化相談	3月6日(土)～3月7日(日)
樹木ウォッチング	3月6日(土)～3月7日(日)
子供向けコーナー	3月6日(土)～3月7日(日)
盆梅展(ひな人形)	3月3日(水)～3月7日(日)
第3回いなざわ梅まつり (写真・俳句大会)入選者作品展	2月23日(火)～3月7日(日)
愛知県立一宮高等技術専門学校 稲沢校舎 総合造園科開放	3月6日(土)～3月7日(日)



いなざわ梅まつりモデルコース

### いなざわ矢合観音と3ヶ寺めぐり

名鉄国府宮駅 → 名鉄バス → 矢合観音バス停 (徒歩 150m) → 矢合観音 (徒歩 400m) → 安楽寺 (徒歩 800m) → 円光禅寺 (徒歩 240m) → 平和の塔 (徒歩 800m) → 国分寺 (徒歩 100m) → 矢合観音バス停 → 無料シャトルバス 2km → 梅まつり会場 → 愛知県植木センター

### 03 へいわさくらまつり

●平成22年4月上旬  
 information ●場所／日光川桜堤小公園

《イベント》フリーマーケット、飲食コーナーなど  
 平和町には、総延長2,300メートルを桜並木で繋いでいる桜ネックレスがあります。

また、日光川左岸堤の桜づつみは、約30種類の里桜を3月から4月末まで楽しむことができます。



### 04 稲沢桜まつり

●平成22年4月4日[日]  
 information ●場所／国府宮神社参道

《イベント》茶会、写生大会、飲食コーナーなど  
 国府宮神社参道に咲く満開の桜の下で、茶会や演奏会、写生大会などの催しが開かれます。

夜には桜をライトアップし、美しい桜が浮かび上がります。



## 稲沢市キャンペーン・レディーを募集

市の観光事業やイベントなどをより一層盛り上げるために、歴史と文化のまちにふさわしい、理知的で活動的な方を募集します。

募集人員：3人

- 応募資格：① 満18歳～30歳の女性  
 ② 市などの事業に1年間参加できる方  
 ③ 親権者、雇用主の承諾を得た方  
 ④ 類似した職務の任期中でない方

任期：平成22年4月1日～平成23年3月31日

審査日：2月中旬予定(面接審査)

申込み：1月5日(火)～29日(金)(消印有効)に、申し込み書(稲沢市観光協会、市役所商工観光課、支所、市民センターで配付)に必要な事項を記入の上半身の写真を添えて、稲沢市観光協会(〒492-8525 稲沢市朝府町15-12)へ

- その他：① 日当 9,200円  
 ② 交通費、食費は支給しません  
 ③ 被服その他装飾品は貸与します  
 ④ 勤務中の災害は加入保険の範囲で補償します